

これで納得



テレワークに必要なもの

Ver.1.2

10年に1度の大転換期

パソコン1人1台

2001

ビジネス・行政でのIT活用が加速広まる

1999年：インターネットの人口普及率 約21%

ADSLが登場し、携帯電話のインターネット接続サービスが開始
携帯電話やPHSの番号が11桁に

2000年：インターネットの人口普及率 約37%

Googleが日本語の検索サービスを開始
Amazonが日本でサービス開始

2001年：インターネットの人口普及率 約44%

フレッツADSL、Yahoo!BBなどのADSL事業が開始
Wikipedia日本語版が登場



スマホ急速に普及

2010

知りたい情報をすぐに検索でき、いつでもメールやメッセージを確認できるようになり
オフィスに縛られなくなった

2008年："iPhone"が日本で発売を開始

2009年：GoogleのOS「Android」を搭載した機種が登場

2010年：インターネットの人口普及率 約78.2%

2014年：スマホ普及率がガラケーを上回る



働き方改革とテレワークの普及…??

2020

働き方改革で、じわじわ広がりながらも、爆発的には普及しなかったテレワークが、コロナ感染防止対策のため、急速に広まりつつある

2019年：インターネットの人口普及率 約79.8%

2020年：Covid19（新型コロナウイルス）



テレワークの課題

テレワークの課題…

“会社のIT化が進んでいない”

ファイルサーバには社内LANでしかアクセスできず、デスクトップPCだから持ち帰れない
共通のコミュニケーションツールは電話だけ、紙伝票、紙書類がメイン

“働き手のテレワーク環境”

下記のアンケート結果では、テレワークを約7割の方が継続したいという回答でしたが、家に働く環境を作れるか？という課題

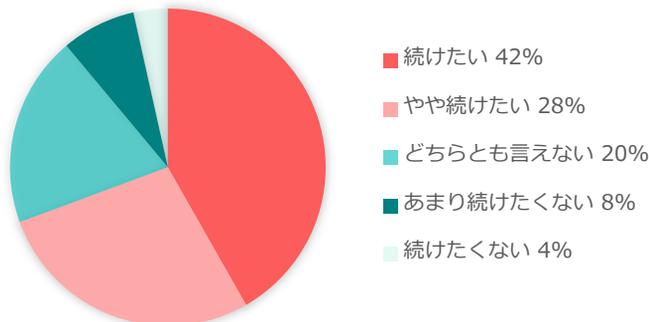
“リテラシー”

ITリテラシーが低い、主体性がなく「指示待ち」のスタイルの社員が多い、権限委譲が成り立たない、
「仕事を家に持ち帰る」だけなどの課題

会社にも、働き手のテレワーク環境にも課題あり

上司と部下にも各々の課題あり

[アンケート]テレワーク継続を希望するか否か



出典：“働き方の「ニューノーマル」”(NEWS PICKS)
(https://newspicks.com/news/4985057/body/?ref=picked-news_9384) (2020年8月10日に利用)

**約7割の働き手がテレワークの継続を希望
課題がありテレワークを推進できない**

実は、新型コロナにより…

すぐには解決できない課題…

“上司の部下のリテラシーやハタラクカタは一足飛びには変えれない”

「明日からテレワークします。主体性をもって仕事してください」「成果で評価してください」と急に言われても、上司も部下も対応できないですし、急に働き方を変えるのは難しい。

実は、新型コロナにより10年に1度のテクノロジーの大転換期が来てます

“大転換期に乗り遅れるな！”

企業における、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進させることで、中小企業にも大きなチャンスが舞い込みます。リテラシーを一足飛びに変えることはできませんが、まずは、IT環境を今一度見直し、他社よりも前に進むことが、今後の人材育成と採用にも大きく影響をあたえます。

“DXとは”

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

成果の基準、リモートワーク手当など考えることは多いですが、

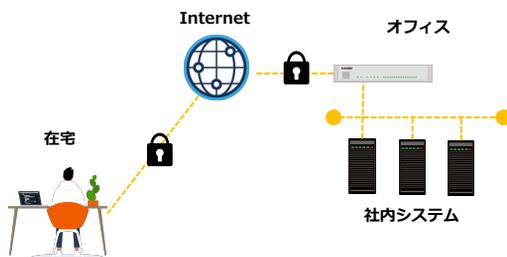
まずは、ITを活用してテレワーク環境を整えましょう！

テレワークのお勧めのツールをご紹介します！

IT環境を整えて生産性を高める！

1.社内LANへのリモートアクセスは“FortiGate FortiClient”で解決！

社内LANへ接続しなければ、利用できない社内システムやファイルなど、FortiClientで解決が可能です。Fortigateは、クライアント間のVPNに対応しており、ファイアウォール制御やVPNトラフィックを専用のネットワークプロセッサで高速処理しているため、複数の同時接続に対応可能。



2.オフィスの電話は“SIMふるフォン”で解決！

オフィスにいけない、いかないので、お客様からの電話に応答できない。スタッフと内線ができない。

SIMふるフォンは、既存のPBXをクラウド化することが可能です。オフィスにかかってくる外線をどこでも応答することが可能です。スタッフ同士の内線はもちろん、転送などの機能もご利用頂けます。



3.チャットツールは“Slack”で解決！

テレワークは、同じ場所にいないという不安と、コミュニケーション減少があいまって、生産性を著しく低下させてしまいます。すべての会話やツールを1か所にまとめると、在宅勤務でもチームの一体感を失わず、生産的に仕事を進めることができます。チーム全員が常に現状を把握ができ、指示したり、進捗確認がリアルタイムで可能です。



4.通信回線は“jetfi U3”で解決！

“jetfi U3”は、クラウドSIM内蔵したモバイルルータでマルチキャリアに対応したサービスをセットで提供しています。ドコモ、au、ソフトバンクの3つのキャリアに対応し、利用している場所で一番強い電波が自動的に選択しネットが利用できるため、俯瞰地帯のリスクが減ります。

1日600円(5GB)利用でき、利用しない時は、お金がかかりません。とはいえ、1日600円で1ヶ月フルで利用すると18,000円もかかり通信コストが高くなってしまふ…

ご心配なく、月10日以上の利用した場合の月のお支払い金額は5,500円となります。

つまり30日フルで利用した場合も、5,500円です。

※価格は税抜き



クラウドSIM内蔵
マルチチャネル対応



お問い合わせ先

本資料についてのお問い合わせや、
サービスに関するご相談は下記までご連絡ください。



KOSネットワーク株式会社

TEL:050-3538-0401

住所：〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-2-3 マルイト難波ビル 14F

SIMふるフォン相談会も随時開催しております。

<お申し込み先URL> <https://kosnetwork.co.jp/form02/>

